

いま、あなたができること ～献血編～

あなたができる一番身近なボランティア、それが**献血**です。
毎日約3,000人も命が献血によって救われています。街中での献血のお願い、一度は誰でも聞いたことがあるはず。そんなに毎日不足しているの？って思った人もいるかもしれません。
でもそれにはちゃんと理由があるんです。
知っているようで知らない、**献血・輸血**についてまとめました！ （※取材は2020年1月に行いました）

献血に種類があること、ご存知ですか？

全血献血と成分献血

全血献血は血液中のすべての成分を献血する方法です。



成分献血は、けっしょうばんせいぶんけんけつ 血小板成分献血とけっしょうせいぶんけんけつ 血漿成分献血があり、血小板や血漿といった特定の成分だけを採血し、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法です。全血献血に比べ身体への負担も軽く、多くの血漿や血小板を献血することができるのが特長です。

実際に献血やってみました！

今できるボランティアとして、初めて献血ルームに行ってきました！

今回お伺いしたのは「かわさきルフロン献血ルーム」➔



1. 受付&問診



献血ルームを訪れたらまずは受付へ。本人確認は、初回は運転免許証など、2回目以降は生体(指静脈)認証で行います。



次に、その日の健康状態などをタッチパネルでチェックして、先生との問診&血圧の測定です。

2. 採血で事前の検査



少量(2ml)の採血を行って、血液型の事前検査(初回のみ)とヘモグロビン濃度を測定します。

検査結果はその場ですぐ分かります。



ヘモグロビン値が「12.5」を下回ると献血はできません！

3. いざ献血！



全血献血の場合、針を刺してる時間は10～15分程度。献血が初めてだったこともあり、看護師さんが細かく丁寧に説明をしてくれて、ずっとそばで気にかけてくれていました。不安なことがあればいつでも親切に対応してくれるので安心です。



採血中は備え付けのモニターでテレビも見れます！

4. 休憩

献血後は水分を補給してしっかり体を休めます。こちらには無料の飲み物や、テレビや雑誌などが用意されており、ゆっくり休むことができます。



献血された方にはこんな記念品も ➔

CHECK 献血にかかる時間は？



全血献血：約40分
成分献血：約90分
(※受付～採血後の休憩まで)

CHECK 献血できる年齢と体重は？



年齢：16歳～69歳
体重：男性45kg以上
女性40kg以上

献血された血液はどこに行くの？

献血された血液は、そのまま医療機関へ運ばれるわけではありません。エリアごとに日本赤十字社の血液センターに運ばれ、そこで血液の検査・製造・保管・供給を担います。それにより安全な血液が安定的に届けられるようになっています。



関東甲信越ブロック血液センター

何に使われているの？

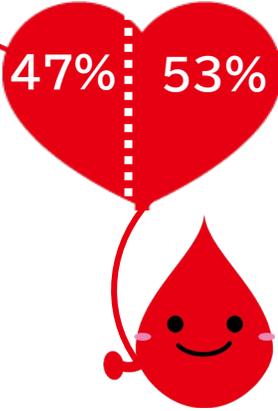
輸血用血液製剤へ

血液センターで血液中の成分ごとに抽出して4つの製剤に分けられます。



赤血球製剤 血漿製剤 血小板製剤 全血製剤

またその過程では副作用の原因となる白血球の除去等を行い、安全性の高い血液を製造していきます。



製剤へ

献血にて集められた血液の約半数が、薬になることをご存知ですか？

けっしょうぶんかくせいざい
血漿分画製剤といい、血液の成分中の血漿を原料として国内の製薬企業で作られています。川崎病や血友病（血が止まりにくい遺伝性の病気）等の製剤に用いられています。

医療機関（患者さん）のもとへ



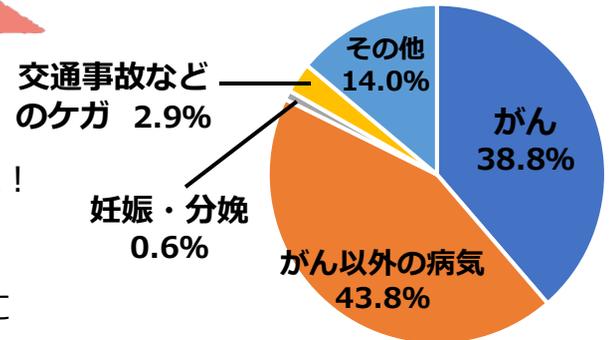
輸血用の血液製剤はどういった時に使われるの？

交通事故や、手術の時などの緊急時に使われているイメージが多いのではないのでしょうか？

実は交通事故などで輸血をする方の割合は、たったの**3%程度**！

実際は、**80%以上**が**病気の治療のため**なんです！

そのうち、**約半数**が「**がん**」の**治療のため**に使われています。定期的な輸血が必要になるので、血液の安定した確保が重要になります。



平成30年 東京都福祉保健局より

これから血液はもっともっと足りなくなります・・・

現在献血者の約**70%**は**50歳未満**の方々によって支えられています。ですが、輸血を使用されている方々の約**85%**は**50歳以上**の方々です。

若い世代が支えている輸血医療ですが、今後少子高齢社会を迎えるにあたり、献血者数が減少していくことが考えられます。

血液は医療技術が進歩した現代でも人工で作ることが出来ません。そして長期保存をすることができません。

病気で輸血を必要としている人に血液を届けるには、安定した量の血液を、継続して供給する必要があります。

わずか**40分**で助かる**命**があります。今あなたができること、ぜひ考えてみてください。

現在日本赤十字社では、コロナウイルス感染対策を徹底し、安全な献血会場の運営に取り組んでいっしょにやります。

予約制など各施設によって対応が異なる場合もありますので、事前にお電話やインターネットにてご確認の上、ご来場下さい。